

会社名					日本精化 株式会社				
本 社		〒541-0051 大阪市中央区備後町 2-4-9							
電 話		06(6231)4781			F A X		06(6231)4787		
代表者		矢 野 進							
資本金		59億 3,322万円			創 立		大正 7 年 2 月 12 日		
役 員 氏 名					会社沿革及び概要				
代表取締役執行役員社長 矢 野 進					大正 7 年 兵庫県神戸市にて日本樟脳株式会社設立。粉末樟脳、型物樟脳、防虫剤の製造開始。				
取締役執行役員 川 林 正 信					昭和 8 年 日本薬局方カンフル剤の製造開始。				
取締役執行役員 難 波 幸 弘					昭和16年 子会社、日本樟脳化学工業株式会社を設立。我が国初の合成樟脳の製造開始。				
取締役執行役員 大 橋 幸 浩					昭和29年 油脂工場（現在の神戸工場）新設。塗料用脂肪酸、単体脂肪酸の製造開始。				
取締役執行役員 深 瀬 真 一					昭和31年 脂肪酸クロライドの製造開始。				
取 締 役 木野村 圭 右					昭和35年 化粧品基剤の製造開始。				
取 締 役 鈴 木 一 誠					昭和41年 化粧品エステル製造開始。				
取 締 役 村 瀬 千 弘					昭和44年 加古川工場（現在の加古川西工場）を新設。				
常 勤 監 査 役 小 木 曾 正 也					昭和45年 高砂工場を新設。				
常 勤 監 査 役 堀 江 清 志					昭和46年 社名を日本精化株式会社に改める。				
監 査 役 小 野 浩 昭					昭和48年 不動産事業開始。				
監 査 役 橋 本 崇 志					昭和51年 油脂製造部門を高砂工場に移転。大阪に本社ビルを設置。本店所在地を大阪へ移転。				
執 行 役 員 矢 野 浩 史					昭和54年 大阪証券取引所第 2 部上場。				
執 行 役 員 尾 崎 宏 明					昭和55年 医薬用防虫忌避剤「ディート」製造開始。				
支 店 及 び 工 場					昭和60年 検査薬・医薬品原料「高純度リン脂質」製造開始。				
東京支店 東京都中央区日本橋小伝馬町 4-9					昭和61年 神戸市三宮に日精ビル新築。				
小伝馬町新日本橋ビルディング					昭和63年 創業70周年。				
TEL03(3664)7781 FAX03(3664)7866					平成 4 年 大阪証券取引所第 1 部上場。				
神戸工場 神戸市東灘区本山南町 5-4-55					平成 7 年 吉川製油株式会社を吸収合併。				
TEL078(411)2961 FAX078(452)4377					平成 8 年 中国に合併会社「四川日普精化有限公司」設立。				
加古川東工場 加古川市野口町北野 377-1					平成 9 年 東京証券取引所第 1 部上場。				
(加古川工業団地)					平成10年 創業80周年。				
TEL079(423)1771 FAX079(423)1037					平成11年 資本金59億3,322万円とする。				
加古川西工場 加古川市野口町水足 671-4					平成15年 中国に合併会社「太倉日夏精化有限公司」設立。				
TEL079(422)5219 FAX079(424)3820					平成17年 日精産業株式会社と株式会社環境バイリス研究所が合併し商号を日精バイリス株式会社に變更。				
高砂工場 高砂市梅井 5丁目1番1号					平成19年 株式会社カスタムサーブの経営権を取得。				
TEL079(447)3642 FAX079(448)4515					平成20年 株式会社カスタムサーブの商号を日精プラスチック株式会社に變更。				
研究所 高砂市梅井 5丁目1番1号					平成21年 台湾に合併会社「日隆精化國際股份有限公司」を設立。				
TEL079(448)7061 FAX079(448)4967									
発 売 主 要 商 品									
〈化粧品〉									
ラノリン及びラノリン誘導体、コレステロール及びコレステロール誘導体									
単体脂肪酸、化粧品用脂肪酸エステル、リン脂質複合体、配糖体									
日本薬局方 d 及び dl-カンフル、精製粉末樟脳									
〈精密化学品〉									
脂肪酸アמיד、脂肪酸クロライド、高純度リン脂質、リン脂質誘導体									
ラノリン系防錆添加剤、ラノリン系界面活性剤、ラノリン系分散性ワックス									
アルキルケテンダイマー、機能性コーティング剤、各種皮革油剤									
アルキルプロマイド及び写真薬、医薬・農業中間体									